

西 彩会長の「誰もが輝き活躍することができる、強くてしなやかな水土里ネットを目指しましょう！」という力強い挨拶でスタートしました。

男女共同参画という言葉が持つ堅いイメージを、落語の魅力である笑いと語り口で払拭し、遊び心のあるセリフや巧妙に筋立てられた語り聞かせを通して、多角的な視点から男女共同参画を学びました。

後半はグループ討論。将来に向けて、多様な人材に開かれた裾野の広い土地改良を目指して、より働きやすい職場にするためにはどうしたらいいか、業務のやり方はどう改善すべきかについて意見を交換しました。



「新・田舎人」の特集記事が、全国水土里ネットHPでご覧いただけます(URLをクリック)

<https://www.inakajin.or.jp/websys/wp-content/uploads/2025/03/E44BB4A4E5925C5E5B9B4E5BA6E585A8E59B8D6E6B0B4E59C9FE9878C8E3838D6E3838E38388E5A5B38E680A7E381AE3E4BC9A.pdf>

水土里ネットビジョンステートメント（全国 ver.）

名刺の
裏面に
PR



土地改良団体や農業・農村整備の重要性をもっと世間知ってもらいたい、という切実な声があつたがたび上がっています。

そこで、ビジョンステートメントを作成し、名刺の裏面に印刷しました。「名刺配るのって身内がほとんどじゃない？」というご意見、もっともです。土地改良の関係者から関係者以外へ、数少ない出会いだとしてもビジョンステートメントがきっかけで理解が進むよう、手近にやれることはやっていこう精神です。

令和6・7年度全国水土里ネット女性の会役員の紹介

よろしくお願いします！
(事務局より)



会 長：西 彩 氏（水土里ネット熊本総務部会員支援課長）
副 会 長：石川 房代 氏（水土里ネットとちぎ女性の会会長、小山水土改良区事務局長）
副 会 長：栗野 祐子 氏（ひょうご水土里ネット女性の会会長、丹波篠山土地改良協議会事務局長）
事務局長：仁科 葉子（全国水土里ネット主査、米沢平野土地改良区(山形県)より出向）

写真左から 仁科事務局長、石川副会長、西会長、栗野副会長

公開中

農林水産省の業務を全国水土里ネットが受注 23府県 10土地改良区と意見交換を行いました
2025年度成果目標達成に向け個々の土地改良区の理事長さんから課題などを伺いました。

第5次男女共同参画基本計画等の期限までに目標を達成するためには、国、都道府県、地方連合会（それぞれの出先機関を含む。）が積極的に現場に向かい、土地改良区等に対し、女性理事登用に関する直接の働きかけを行うことが重要です。

このため、女性理事が登用されていない土地改良区を対象に、農林水産省、都道府県及び都道府県水土里ネットが連携して、課題の聞き取りや助言を行いました。全国水土里ネットは230土地改良区を担当しました。



～これまでの運動の成果がでていきます～

項目	目標値 (期限)	計画策定時 の数値	最新値 (全土連調べ)
理事に占める 女性の割合	10% (2025年度)	0.6% (2016年度)	1.9% (2024年10月1日)

理事に占める女性の割合が計画策定時の3倍に
人数は264名から810名に
期限の2025年度末まであと1年、早めの対策を！



豊川総合用水土地改良区（愛知県）を取材

女性理事登用のその次を考える

土地改良区以外の分野の人材も参画して新たな視点で情報交換を行う懇話会を発足！

「農業に携わる女性の意見や現場視察などを積極的に取り入れ、より良い形で東三河地域農業の持続可能な発展につなげたい」という小久保三夫理事長の思いの下、2022年に「豊総男女共同参画推進懇話会」を発足しました。会長を務める総括監事の功刀由紀子さんをはじめ、男性理事も含め、女性職員、企業及び県や市の職員など官・民のメンバーによる11人で活発な意見交換を行っています。



「新・田舎人」の特集記事が、全国水土里ネットHPでご覧いただけます(URLをクリック)

<https://www.inakajin.or.jp/websys/wp-content/uploads/2025/03/E8B18A8E5B79D7E7B78F8E590A88E7E94A8E6B0B4E59C9FE9878C8E3838D6E3838E38388E5A5B38E680A7E381AE3E4BC9A.pdf>